

顕彰制度への応募支援の事例

# 衣川製鎖工業株式会社 兵庫県発明賞&ひょうごものづくり大賞受賞



伝統の鎖製造技術を応用し、バイク盗難防止チェーン「かてーな!!」を開発、平成22年度に『兵庫県発明賞』と『第3回 ひょうごものづくり技術大賞』をW受賞した衣川製鎖工業(株)。いずれも姫路商工会議所推薦で応募。

応募のきっかけと対象の製品・技術についてお聞かせください。

姫路ものづくり支援センター(以下ものセン)のディレクターさんからの声掛けがきっかけです。両賞とも自薦ではなく、推薦方式でしたので、姫路商工会議所からの推薦で応募(申請)しました。対象の製品・技術はバイク盗難防止チェーン「かてーな!!」です。弊社は元々船舶用鎖等を製造する会社ですが、その技術を応用して作り上げたのが「かてーな!!」です。「かてーな!!」を作るきっかけは愛車を盗まれた大型オートバイ愛好家グループから『切れない鎖を作ってほしい』との要望でした。従来の盗難防止チェーンは油圧カッター等を使えば簡単に壊されてしまい盗難の完全な防止策にはなりません。「切れない鎖」は無理だが、「切るのに時間のかかる鎖」なら泥棒もあきらめると考え、弊社の製鎖技術に新たな工夫を凝らしたチェーンを開発しました。お客様のご要望に合わせた商品を種々開発し、現在までに8,000名を超える方々にご愛用いただいています。

ちなみに、「かてーな」という名前はチェーンを意味するラテン語(catena)からです。しかし、皆さんから大阪弁の「かてーなあ」か?と聞かれると、いつもそうですと答えています。

応募に際して、姫路ものづくり支援センターの支援はどうだったのでしょうか?

最初に応募したのは兵庫県発明賞でした。「かてーな!!」を御存じだったディレクターさんが声をかけてくれました。申請書案を作成し、ディレクターさんにチェックしてもらいました。何度かの手直しの後、商工会議所から申請(応募)していただきました。

発明賞受賞をきっかけに「ひょうごものづくり技術大賞」の「伝統技術の応用分野」に応募してはどうかということになりました。鎖は、国産鎖の70%以上が姫路で造られており、「伝統技術の応用分野」という募集要項にマッチしているのではないかと。申請書作成は発明賞の時のベースがあったので発明賞の時に比べると割とスムーズに進みました。もちろん、仕上げるまでには何度もディレクターさんにチェックしてもらいました。

受賞の効果等はあったのでしょうか?

発明賞申請準備を進めていた当時(H21年秋)、既に発売から8年になる「かてーな!!」はバイク愛好家の間では信頼されていました。私は泥棒には負けないという自信がありましたが、2つの賞をいただいたことで、特許取得の製造技術が公に認められ、信頼度も高まったと思っています。

姫路商工会議所や姫路ものづくり支援センター利用について、読者にアドバイス等あれば…

自社技術で特許を取得し商売に結び付いているものがあれば、発明賞等にチャレンジしてみるのもいいのではないのでしょうか? 取り敢えず、ディレクターさんに相談してみたら…。

最後に「ものづくり」への思いや御社のこと等をもう少しお聞かせください。

私共のようなものづくり企業の存在意義は社会に役立つかどうかです。バイク盗難防止チェーン『かてーな!!』の例で言えば、鎖造りの経験や金属に関する知識やノウハウが十分に生きて、大切な愛車を守る、『泥棒には負けない』商品が生まれました。

社会に必要とされる商品を今後も開発し提供していきますので、皆様のご要望をお知らせください。

それから、弊社では「鉄のふしぎ博物館」を併設しています。『石は磁石くっつく!』という常識破りの現実を見たり、色々、面白い体験ができます。是非、子供さんと見学に来てください。



ディレクターより一言

左: 毛利 信幸 右: 尾嶋 秀己



兵庫県発明賞は例年10月には募集が始まります。また、他にも色々な顕彰(表彰)制度や補助金の制度がありますので、チャレンジ(応募(申請))をしたいという企業様は是非一度声をかけていただければと思います。

\*平成22年度は本例を含め2件、平成24年度は1件が当所の推薦で兵庫県発明賞を受賞されています。

【会社概要】

〒672-8039  
姫路市飾磨区阿成渡場1111  
TEL 079-234-1515

- ① 会社敷地内の「鉄のふしぎ博物館」にて説明をする衣川社長
- ② 「鉄のふしぎ博物館」
- ③ かてーな!!